

資料6

各団体の取組について

○岩国市

名称	概要
錦帯橋ロゴマーク利用促進	<p>利用方法: 名刺(台紙)の作成、チラシやポスターなど</p> <p>内容: 庁内でのロゴマークの利用を促進することで、国内外に向けた錦帯橋の周知及び啓発活動につなげる。</p> <p>《参考:昨年度実績》 8部署19件(秘書広報課、観光振興課、岩国徴古館、政策企画課、健康推進課、環境事業課、都市拠点整備課、錦帯橋課)</p>
重要文化的景観エンブレムの利用促進	<p>利用方法: パンフレットやイベントなど</p> <p>内容: 重要文化的景観エンブレムの利用を促進することで、錦帯橋(資産)及び周辺環境(緩衝地帯)に関連する重要文化的景観の普及・啓発をする。</p>
【錦帯橋】岩国市公式ホームページ	<p>アドレス: https://kintaikyo.iwakuni-city.net/</p> <p>更新回数: 15回予定(新着情報等)</p> <p>内容: 錦帯橋の概要、歴史、技術や未来に向けた取組などを紹介するホームページ上において、適宜、掲載内容を更新し、情報発信を行う。</p> <p>《参考:昨年度実績》 ・アクセス数:約32万件</p>
錦帯橋健全度調査及び保全工事 ①強度試験 ②老朽調査及び保全工事	<p>実施予定時期: ①令和6年9月17日～24日、②令和6年12月2日～令和7年3月中旬</p> <p>内容: 5年に1度の健全度調査及び保全工事を実施。 期間中、調査や内容がわかるチラシ等を作成し、錦帯橋の入口などに設置、配布する。</p>
全国木橋サミット2024in岩国(仮)	<p>開催日: 未定</p> <p>内容: 健全度調査の年に合わせ、5年ぶりに岩国市に招致する。 錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会主催の世界遺産セミナー(仮)と共同し、全国の自治体・有識者に対して、世界遺産登録推進のPRを行う。サミット関係者に対しては、現地視察も行う予定。</p>

錦帯橋模型組立	開催日:通年(依頼に応じて対応) 内容:錦帯橋1/5模型の組立体験を実施し、構造について紹介する。
錦帯橋学校	開催日:令和6年8月4日 参加者数:10人程度 内容:小学4年生から中学3年生までを対象に、「ものづくり」(木工教室)を通して、木に触れ親しむ機会を提供するとともに、錦帯橋1/5模型の組立により、錦帯橋を身近に感じてもらうことを目的として行う。
学校行事における錦帯橋説明	開催日:通年(依頼に応じて対応) 内容:市内小中学校の社会見学等において、錦帯橋課職員又は岩国徴古館学芸員が錦帯橋の歴史や構造、世界遺産登録に向けた取組等について紹介する。
出前授業	開催日:通年(依頼に応じて対応) 内容:市内小中学校及び高等学校等で、錦帯橋課職員又は岩国徴古館学芸員による錦帯橋の概要や世界遺産登録に向けた取組等についての授業を行う。
学芸員派遣事業	開催日:通年(依頼に応じて対応) 内容:公民館や関係団体等に岩国徴古館学芸員を派遣し、講演又は講座等の中で錦帯橋の概要や世界遺産登録に向けた取組等について紹介する。
錦帯橋世界文化遺産専門委員会	開催日:未定 (※令和5年度は令和6年3月30日に開催)

○岩国市教育委員会

名称	概要
生涯学習講座「由宇・モア・大学」歴史講座「錦帯橋350年」～NHK ブラタモリの裏話	開催日:令和6年6月19日 開催場所:由宇文化会館 内容:NHK番組「ブラタモリ」でタモリ氏を案内した岩国徴古館副館長 松岡智訓氏による、創建350年を迎えた錦帯橋とブラタモリ出演時の裏話などについての講演を開催する。

<p>きんたいきょう学 「こどもガイド」 岩国小学校</p>	<p>活動期間:通年 参加者数:約150人 内容:6年生の児童が錦帯橋をはじめ、吉香公園などの周辺施設で観光客を対象にガイド活動を行う。 ガイドのための事前の調べ学習などを年間を通して継続的に行う。 4年生の地域学習として、錦帯橋及び白へびについて、ガイドから話を聞きながら調べ学習を行う。 5年生では、「岩国七町」について、徴古館の職員から話を聞いたり、フィールドワークを行ったりして、町づくりの特徴や工夫について学ぶ。</p>
<p>きんたいきょう学 「錦帯橋子どもガイド」 御庄小学校</p>	<p>活動期間:通年 参加者数:約26人 内容:6年生が、岩国の歴史や吉川家の歴史を学ぶとともに、錦帯橋を説明するためのポスター等を作成し、観光客を対象に現地でガイド活動を行う。</p>
<p>きんたいきょう学 「社会見学」 「こどもガイド」 柱野小学校</p>	<p>活動期間:通年 参加者数:約5人 内容:高学年が、岩国の歴史や吉川家の歴史を学ぶとともに、錦帯橋を説明するためのポスター等を作成し、観光客を対象に現地でガイド活動を行う。</p>
<p>きんたいきょう学 「社会見学」 「錦帯橋1/5模型を 組み立てよう」 「こどもガイド」 藤河小学校</p>	<p>活動期間:通年 参加者数:約80人 内容:低学年が、社会見学として、錦帯橋や周辺施設を訪れ、その歴史や伝統、文化について実地学習を行う。 中学年が、錦帯橋1/5模型を組み立てる体験活動を行う。 高学年が、岩国の歴史や吉川家の歴史を学ぶとともに、錦帯橋を説明するためのポスター等を作成し、観光客を対象に現地でガイド活動を行う。棟梁や実際の現地ガイドからも話を伺い学習を進める。</p>
<p>きんたいきょう学 「修学旅行」 錦帯橋PR project in Kyoto! 岩国中学校(3年生)</p>	<p>活動期間:5月 参加者数:約170人 内容:外国人観光客の方に英語で錦帯橋の紹介やインタビューを行う。また、生徒のPRやインタビューについての感想をはがきでの送付を依頼する。</p>
<p>きんたいきょう学 「広島班別自主研修」 錦帯橋PR project in Hiroshima 岩国中学校(2年生)</p>	<p>活動期間:5月 参加者数:約180人 内容:外国人観光客の方に英語で錦帯橋の紹介やインタビューを行う。また、生徒のPRやインタビューについての感想をはがきでの送付を依頼する。</p>

岩国ユネスコ協会 高校部 錦帯橋清掃	活動日:未定 内容:錦帯橋及びその周辺の清掃を通して、歴史的価値の高さを再認識するとともに、文化財の維持に取り組むことを通じ地域への貢献活動を行う。
--------------------------	---

○岩国市議会

名称	概要
岩国市議会公式 ホームページ	アドレス: http://iwakunishigikai.jp 更新回数:2回予定(新着情報等) 内容:錦帯橋世界文化遺産登録に向けた事業の掲載。
錦帯橋世界文化遺産 推進フォトコンテスト 2024	募集期間:令和6年7月1日～令和6年8月10日 内容:錦帯橋の魅力を多くの方に感じてもらうことを目的に、錦帯橋を対象としたフォトコンテストの実施。 (「錦帯橋を世界文化遺産に推す会」と共催)

○山口県

名称	概要
政府要望	実施日:令和6年6月(今後は要調整) 内容:文部科学省(文化庁)に錦帯橋の世界遺産(文化遺産)暫定一覧表への追加記載、錦帯橋の世界文化遺産登録に向けた取組への支援を要望。
やまぐち県政出前ト ーク「山口県内の世界 遺産」	募集中 内容:県民等によるグループ・団体を対象に、世界遺産の制度や、世界遺産を目指している「錦帯橋」の取組の紹介。
文化財出前講座「学 べる!文化財講座」 世界文化遺産につい て学ぶ!	募集中 内容:県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童・生徒を対象に、世界遺産の制度や、世界遺産を目指している「錦帯橋」の取組などを、学校の希望内容を踏まえて説明。
山口県Webサイト「錦 帯橋世界文化遺産登 録推進協議会」	アドレス: http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/97/ 更新回数:2回予定 内容:錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会や、世界文化遺産を目指した取組等を掲載。

○山口県教育委員会

名称	概要
教育活動	<p>実施校及び内容</p> <p>【岩国高校の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和6年9月、5年に1度の錦帯橋健全度調査(岩国市と早稲田大学との共同実施)において、生徒約130名がボランティアで重し役となり、橋の強度試験に協力する予定。 ○歴史を学ぶ取組として、毎年4月に、1年生全員が錦帯橋を渡って横山の旧校舎及び跡地に向かうフィールドワークを実施。 <p>【岩国商業高校の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業としての学校独自の特色を生かした学校設定科目「地域学習」において、錦帯橋の魅力を学習。 ○生徒会・部活動・有志による取組として、令和5年10月1日に実施された「錦帯橋創建350年記念人文字」に生徒30名が参加し、錦帯橋の歴史的な価値や魅力を再認識。 ○職員による取組として、令和5年11月23日に開催された「錦帯橋世界遺産国際シンポジウム」において、職員2名が特別講演やパネルディスカッションを視聴し、改めて錦帯橋の魅力に触れる貴重な体験を得た。 <p>【岩国工業高校の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2020年から授業「課題研究」の中で、コミュニティ・スクールの取組として市社会福祉協議会と連携しつつ、「錦帯橋を車椅子で渡ろうプロジェクト」に取り組んだ。令和5年度末に車椅子の台車が完成したことから、今後は関係機関と連携し、その実用化に向けて取り組む予定。

○錦帯橋を世界文化遺産に推す会

名称	概要
ノベルティグッズ配布	<p>作成数:名入れボールペン500個 付箋2,000冊</p> <p>配布先:会員他</p> <p>内容:錦帯橋を世界遺産にするために活動していることを広く知ってもらうためのツールとして作成配布。</p>
のぼり旗	<p>作成数:500旗</p> <p>配布先:市内各所</p> <p>内容:錦帯橋を世界遺産にするために活動していることを広く知ってもらうため、賛同者に配布、設置依頼。</p>

菊川杯チャリティゴルフコンペ	開催日:令和6年7月 場所:岩国センチュリーゴルフクラブ 参加者数:(会員)8人 内容:「菊川杯チャリティゴルフコンペ」会場にて広報活動を実施。
岩国ユネスコ協会高校部 清掃活動	開催日:令和6年7月 場所:錦帯橋・吉香公園周辺 参加者数:(会員)10人 内容:岩国ユネスコ協会高校部主催の清掃活動に参加協力し、広報活動を実施。
岩国学舎 独立禅師作品 臨書摹刻会	開催日:未定 場所:岩国市内 参加者数:(会員)10人 内容:独立禅師が残した詩・書を教材に臨書・摹刻(もこく)を通して、郷土の歴史と文化に親しむ会に参加協力。
錦帯橋世界文化遺産推進フォトコンテスト2024	募集期間:令和6年7月1日～令和6年8月10日 内容:錦帯橋の魅力を多くの方に感じてもらうことを目的に、錦帯橋を対象としたフォトコンテストの実施。 (「岩国市錦帯橋世界文化遺産登録推進議員連盟」と共催)
第7回IWAKUNI絆EKIDEN	開催日:令和6年10月 場所:愛宕スポーツコンプレックス 参加者数:(会員)10人 内容:第7回となる日米交流事業でもある[IWAKUNI絆EKIDENN]にスタッフとして参加支援。
篆刻行灯	開催日:令和6年11月 場所:錦帯橋周辺 参加者数:(会員)10人 内容:令和5年に引き続き、錦帯橋芸術文化祭の篆刻行灯に参加協力。
第11回岩国吉川会オープンフォーラム	開催日:令和6年11月16日 場所:岩国国際観光ホテル 参加者数:(会員)5人 内容:オープンフォーラムに共催。テーマ「錦帯橋の思い出エッセイ」を公募する。

錦帯橋ロードレース	開催日:令和7年3月 場所:横山河川敷運動広場 参加者数:(会員)10人 内容:岩国恒例の「錦帯橋ロードレース大会」へスタッフとして参加支援。周辺にのぼり旗を設置。
錦帯橋を世界文化遺産に推す会 ホームページ	アドレス: http://www.kintaikyo-sekaiisan.jp/ アクセス数:約50,000件 更新回数:10回 内容:錦帯橋の歴史や木組みの独創的技術の内容について分かりやすく説明し、理解を深める。 「錦帯橋を世界文化遺産に推す会」の活動を紹介する。
錦帯橋を世界文化遺産に推す会 フェイスブック	アドレス: http://www.facebook.com/kintaikyo.sekaiisan アクセス数:約20,000件 更新回数:50回 内容:錦帯橋周辺の行事、風物、自然を紹介する。 また、「錦帯橋を世界文化遺産に推す会」の活動を紹介する。
政治と経済で読み解く錦帯橋	開催日:令和6年6月22日 場所:シンフォニア岩国 参加者数:140人 内容:岩国市生まれで、日刊いわくに社主の藤井淳史氏による講演会を開催する。

○一般社団法人岩国市観光協会

名称	概要
城下町岩国(錦帯橋)の史跡を訪ねて (錦帯橋周辺散策マップ)	規格・ページ数:A4、2色刷 発行部数:150,000部 内容:錦帯橋を中心として、その周辺の主要観光施設をはじめ、宿泊施設、飲食店等も掲載。 「錦帯橋を世界遺産に！」の一文を掲載。

第46回錦帯橋まつり ポスター	規格・ページ数:A2、フルカラー 発行部数:800部 内容:錦帯橋まつりは令和6年4月29日(月・祝)に開催済み。 ポスターには各行事時間・場所を掲載。「錦帯橋ロゴマーク」を掲載。
第46回錦帯橋まつり チラシ	規格・ページ数:B4、2色刷 発行部数:53,000部 内容:錦帯橋まつりは令和6年4月29日(月・祝)に開催済み。 チラシには各行事時間・場所や交通規制図等を掲載。「錦帯橋ロゴマーク」、「文化的景観エンブレム」を掲載。
第55回錦川水の祭典 チラシ	規格・ページ数:A4、両面フルカラー(予定) 発行部数:40,000部(予定) 内容:錦川水の祭典は8月に開催予定。 チラシには花火打上げ日時、各行事時間・場所を掲載予定。 「錦帯橋ロゴマーク」もしくは「文化的景観エンブレム」を掲載予定。

○岩国商工会議所

名称	概要
錦帯橋教室	開催日:未定 参加者数:40人 内容:世界に誇る“錦帯橋”の歴史、技術を子供たちに再度認識してもらう教室を開催する。
錦帯橋・しろへび教室	開催日:未定 参加者数:40人 内容:岩国が誇る錦帯橋・しろへび。その錦帯橋の模型作りを通して、歴史や先人の匠な技術を子供たちに体験してもらう。 また、天然記念物であるしろへびの貴重さ、歴史を体験、理解してもらう。